

公益社団法人東京広告協会
令和2年度 事業報告書

自：令和2年1月1日

至：令和2年12月31日

- I. 主な協会活動
- II. 会員・組織状況
- III. 活動記録
- IV. 業務執行体制等

令和2年度事業報告

公益社団法人東京広告協会は、広告主、媒体社、広告関係会社などが協同して関係諸機関・団体との連携のもと広告の社会的使命を推進し、もって一般市民の文化的な生活の向上、公正かつ自由な経済活動の促進及び地域社会の健全な発展に資することを目的としている。

令和2年度は、この目的を達成するために事業計画に沿って総務、業務、広報、法務政策の4委員会が立案、理事会の承認を経て、会員各位のご支援ならびにご協力のもと、会員及び会員社に限らず学生を含めた一般に向け以下の公益目的事業を推進し、所期の成果をあげることができた。

また、当協会と同じく広告の社会的使命の推進を目的とする総合広告団体である公益社団法人全日本広告連盟（全広連）の会員協会の中核として、事務局業務委託契約に基づき全広連事務局業務を含む全広連活動の年間業務全般を担い協力した。

I. 主な協会活動

1. 情報提供（定款第4条第1項）

(1) 特別講演会（業務委員会）

専門家を講師に招き、オンラインによる録画配信で1回開催した。

■第1回

形式 オンライン録画配信

配信日 令和2年8月28日(金)～31日(月)

視聴者 250名

演題 「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」～実現に向けたまちづくり～

講師 長谷部健氏（渋谷区長）

2. 講座・研修会・育成（定款第4条第2項）

(1) 実践広告スキルアップセミナー（業務委員会）

広告業務に従事する実務担当者を主な対象に、広告の総合的かつ実践的な最新知識取得を目的としたセミナーを、3週にわたり3日間オンラインライブ配信で実施した。

テーマ 「アフターコロナの広告コミュニケーションを考える」

形 式 オンラインライブ配信

視聴者 延べ401名

■ 1 日目：ブランドをめぐる変化（視聴者147名）

日 時 令和2年10月28日(水) 午後1時30分～3時55分

- ・「社会変化と『ブランディング』再定義：新時代の価値創造を実現するために」
小西圭介氏（㈱電通ソリューション開発センターシニア・ディレクター）
- ・「プラットフォーム時代のD2Cビジネスとブランディング」
鈴木健氏（㈱ニューバランスジャパンマーケティング部ディレクター）
- ・「『好き』をつくるーブランディングと広告」
原野守弘氏（㈱もり代表／クリエイティブディレクター）
- ・トークセッション

■ 2 日目：デジタル／ECによって変化する広告マーケティング（視聴者165名）

日 時 令和2年11月5日(木) 午後1時30分～3時45分

- ・「ECプラットフォームを活用した楽天のマーケティングソリューション」
紺野俊介氏（楽天㈱執行役員）
- ・「Mission Driven Company Facebookから見る現状の課題と機会について」
中村淳一氏（Facebook Japan㈱執行役員）
- ・「ニューノーマルにおけるマーケティングセオリー」
鈴木暎氏（TikTok For Business Japan Head of Global Business Marketing）
- ・「広告主のデジタルの活用と乗り越えるべき問題を聞く」
中條裕紀氏（資生堂ジャパン㈱メディア戦略部IMCグループマネージャー）

■ 3 日目：デジタルシフト人材育成を考える（視聴者89名）

日 時 令和2年11月10日(火) 午後2時30分～4時30分

- 戸川尚樹氏（日経BP総合研究所イノベーションICTラボ所長）
- 鉢嶺登氏（㈱デジタルホールディングス代表取締役会長）
- 田代誠氏（CCC MARKETING HOLDINGS㈱取締役）
- ・トークセッション

(2) 秋のアドフォーラム（業務委員会）

広告関連実務者に向けたセミナーである秋のアドフォーラムは、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

(3) 大学生意識調査（広報委員会）

首都圏の広告・マーケティング担当教授のゼミ学生による大学生意識調査プロジェクト

“FUTURE2020”の一連の活動に対し、指導・助成を行った。本年度はコロナ禍における特別プログラムとして、会員社のアドバイザーがオンラインで講義や演習を交えながらマーケティング・プランニングの基本を指導。約半年にわたる考察の結果について、プロジェクト参加学生が11月度広報委員会（WEB会議）内でプレゼンテーションを行った。

テーマ 「大学生のコロナ禍のニューノーマル」

活動期間 令和2年6月29日(月)～11月30日(月)

形式 オンラインWEB会議

参加ゼミ 青山学院大学経営学部・芳賀康浩教授ゼミ

駒澤大学経営学部・中野香織教授ゼミ

上智大学経済学部・杉谷陽子教授ゼミ

専修大学経営学部・石崎徹教授ゼミ

千葉商科大学サービス創造学部・松本大吾准教授ゼミ

参加学生 34名

指導 吉田英一郎氏、古賀晋氏、千葉悠人氏、小池健人氏（㈱博報堂）

(4) 大学生広告制作講座（広報委員会）

首都圏の大学広告研究会で構成されるグループである東京学生広告研究団体連盟（東広連）に所属の学生に対し、11月～12月にかけてオンライン上で第30回（令和2年度）大学生広告制作講座を開催、広告制作技術について教室ごとに担当講師による指導・育成を行った。

座長 高田豊造氏（広報委員会委員、㈱博報堂第二クリエイティブ局高田チームチームリーダー）

講師 高田豊造氏、長島慎氏、橋本暦氏、嵐田光氏（㈱博報堂）

形式 オンラインWEB会議

課題 ①高田教室「京都に住んでいる人に、もう一度観光名所に行ってもらうためのコピー」

②長島教室「もっと映画館に行って映画を観たくなる広告」

③橋本教室「英語を喋りたくなるアイデア」

④嵐田教室「恋愛離れした若者たちが、恋愛をしたくなる広告」

参加者 27名

開催日

	オリエンテーション	中間指導	最終講座
①	令和2年11月11日(水)	11月18日(水)	12月4日(金)
②	〃	11月19日(木)	12月3日(木)
③	〃	11月20日(金)	12月4日(金)
④	〃	11月24日(火)	12月7日(月)

(5) 広告未来塾（業務委員会）

広告界の次世代を担う会員社及び一般の若手・中堅層を対象とした意見交換型研修会の第4期を、新塾長を迎え新たに設定したテーマのもと、本年度は11月から実開催とオンラインライブ配信で3回の講義を実施した。

第4期テーマ「Creativityの力でできないことなんかひとつもない」

塾長 古川裕也氏（塾長、㈱電通CDCシニア・プライム・エグゼクティブ・プロフェッショナル／エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）

形式 実開催（AP新橋）及びオンラインライブ配信

参加者 78名（男女比7.5：2.5、平均年齢32歳）

- ▶ 第1回講義「クリエイティブ・ディレクションの技術」 令和2年11月17日（火）午後7時～9時
古川裕也氏（塾長）
- ▶ 第2回講義 令和2年12月1日（火）午後7時～9時
高崎卓馬氏（㈱電通エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター／CMプランナー）
- ▶ 第3回講義 令和2年12月15日（火）午後7時～9時
嶋浩一郎氏（㈱博報堂ケトル取締役クリエイティブディレクター／編集者）

3. 調査研究及び資料収集（定款第4条第3項）

(1) 「広告法規マニュアル」の発行及び内容説明会開催（法務政策委員会）

実務者に役立つマニュアルとして発行できるよう、日常の広告実務に密着したテーマの選定について検討を重ねた。なお、本年度は同マニュアルが未刊行のため、内容説明会は開催しなかった。

(2) 「広告等法規・行政情報」の発行（法務政策委員会）

行政機関が定める広告関連の法令や消費者庁の動きなどを小冊子にまとめた「広告等法規・行政情報」の第297～299号を発行、第299号では新たに法務政策委員会委員執筆による法規コラムを掲載した。

発行日 令和2年2月25日（第297号）、5月14日（第298号）、7月16日（第299号）

(3) 学校教科書広告関連記述調査（法務政策委員会）

令和元年度の検定に合格し令和3年度から中学校で使用される社会科教科書の広告関係記述状況を調査し、「広告」の文言が記載されていた教科書4冊の記述について検討を行った。結果、問題視する意見や指摘はなく事実に基づく記述であるとして改善要望は行わなかった。

4. 普及啓発（定款第4条第4項）

(1) 高等学校教諭に対する広告研修会（広報委員会）

都内の高等学校教諭の研究団体である東京都商業教育研究会（都商研）に所属する高校教諭に対し、広告について正しく理解し、教育指導に役立ててもらうことを目的とする広告研修会を開催した。

日 時 令和2年12月3日(木) 午後3時30分～5時

内 容 印刷博物館視察

参加者 18名

(2) 「東京広告協会 白川 忍賞」（総務委員会）

2月20日に開催した第92回定時総会の閉会后、第39回「東京広告協会 白川 忍賞」贈賞式を行い、後藤卓也氏（元花王㈱取締役会会長、前(公社)日本マーケティング協会会長）に同賞を贈呈した。同氏は、マーケティング活動に深く注力し、多くのヒット商品、ロングセラー商品の開発から市場導入を進めるなど花王㈱の発展に寄与。また、(公社)日本マーケティング協会会長の職務を通して時代の変化に対応した最新のマーケティング事情の共有に努めるとともに、人材の育成、学術研究の支援を積極的に行うなど、長年にわたり広告マーケティング分野の発展に多大な貢献をした功績が評価された。

また、令和3年度に贈呈する第40回「東京広告協会 白川 忍賞」の選考委員会を12月10日に開き、受賞者の選考を行った。

5. (公社)全日本広告連盟（全広連）活動への協力（定款第4条第5項）

(1) 全広連負担金（総務委員会）

全国的・国際的な総合広告団体である全日本広告連盟の会員団体として、広告の社会的使命の推進という当協会と同一の公益目的を達成するため、同連盟が実施する講座・顕彰・助成事業などの公益事業等に向け負担金支払いによる助成を行った。

(2) 全広連運営及び加盟各地広告協会への協力（四委員会）

全日本広告連盟との業務委託契約に基づき、その法人管理も含む全ての事務局業務を担うと共に、同連盟の会員団体の中核として、同連盟の下記の公益事業活動などに協力した。

①第68回全日本広告連盟ふくしま大会

開催日 令和2年5月21日(木)

形 式 オンライン動画配信

テーマ 「つくる！広告で、未来100年。～2020ふくしま発～」

視聴数 1,959回

②全広連顕彰活動

全広連が行う次の顕彰活動に協力を行った。各賞の贈呈は、第68回全広連ふくしま大会の式典席上で行われた。

1) 第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞

広告活動の発展のため、斬新な広告企画や大きな成果をあげた広告キャンペーン等を実施した全広連加盟各地広告協会の会員社などを顕彰する同賞の選出等に協力した。

2) 第14回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞

地域のクリエイティブ活動の発展・向上を図るため、全広連加盟各地広告協会が推薦する優秀なクリエイティブ作品の広告主企業を顕彰する同賞の選出等に協力した。

3) 全広連日本宣伝賞（第8回及び第9回）

広告の社会的使命の促進に係る功績を「松下賞」、「正力賞」、「吉田賞」、「山名賞」及び「特別賞」として顕彰する同賞に関し、第68回全広連ふくしま大会での第8回各賞の贈賞、及び令和3年の第69回全広連山陰大会で贈呈となる第9回各賞の選出（12月22日）等に協力した。

③第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学

1) 富山：令和2年8月4日(火)、実開催（参加者140名）及び録画配信

総合テーマ 「言葉の技術について ～今、言葉の力をつけるために必要なこと～」

2) 愛媛：令和2年11月4日(水)、実開催（参加者77名）及び録画配信

総合テーマ 「デジタルシフトと地域コンテンツのこれから」

3) 大阪：令和2年11月16日(月)、実開催（参加者71名）及びライブ配信

※3地区の延べ参加者数合計288名

④第13回（令和2年度）全広連秋のシンポジウム

1) 新潟：令和2年12月3日(木)、実開催（参加者100名）

テーマ 「新型ウイルス禍の今こそ、デザイン経営を」

2) 秋田：令和2年12月9日(水)、実開催（参加者84名）及び録画配信

テーマ 「クリエイティブの拡張について ～地域発イノベーションの可能性を拓く」

※2地区の延べ参加者数合計184名

⑤各地広告協会講演会・セミナーへの講師派遣

下記3広告協会による4事業の講師派遣に協力した。

1) 愛知広告協会 第7回実践広告ワークショップ

令和2年7月22日(水)、オンライン形式

講師 石塚美代子氏(三菱電機(株)宣伝部BtoCコミュニケーショングループグループマネージャー)

須田和博氏(株博報堂ブランド・イノベーションデザイン局エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/スダラボ代表エグゼクティブ・クリエイティブディレクター)

土橋通仁氏(株電通中部支社顧客ビジネス局グループ・クリエイティブディレクター)

岩田正一氏(株新東通信スケッチ代表取締役プロデューサー/クリエイティブディレクター/コピーライター)

2) 静岡県広告協会 2020年度広告講座(静岡会場)

令和2年10月20日(火)、於・静岡市/静岡商工会議所(参加者40名)

演題 「新型コロナに負けないために ~eスポーツで今、何ができるか~」

講師 浜村弘一氏((一社)日本eスポーツ連合(JeSU)副会長)

3) 静岡県広告協会 2020年度広告講座(沼津会場)

令和2年11月6日(金)、於・沼津市/プラサヴェルデ(参加者70名)

演題 「新型コロナに負けないために ~eスポーツで今、何ができるか~」

講師 浜村弘一氏((一社)日本eスポーツ連合(JeSU)副会長)

4) 徳島広告協会 徳島広告協会/徳島新聞アド・クラブ合同WEB講演会

令和2年11月19日(木)、オンライン形式

演題 「共感/実感コミュニケーションの作り方」

講師 土橋通仁氏(株電通中部支社クリエイティブディレクター/アートディレクター)

⑥全広連広報活動への協力

機関誌「全広連」の隔月発行や全広連WEBサイトの随時更新などに協力、全広連活動の告知と報告を行ったほか、加盟各地37広告協会の最新情報・事業活動を掲載し広報・PRに協力した。

⑦国際関係

3月にタイ・パタヤで開催予定だった第23回アジア太平洋広告祭(ADFEST2020)及び第16回Young Lotus Workshop2020(YLW2020)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったが、ADFEST2020の作品応募段階で全広連が行った応募要項の日本語翻訳及びWEBサイトへの掲出、並びにYLW2020に参加を予定していた日本代表1チームの選考・選出及びPreADFEST2020(2月5日・東京)の開催など、一連の全広連事業に協力した。

⑧「全広連名鑑」への協力

9月末日に全広連が刊行した加盟37広告協会の会員名簿「令和2年版全広連名鑑」に協力した。

6. 関係官公庁、関係団体との協力、連絡及び交流（定款第4条第6項）

(1) 関係官公庁等への要望活動（法務政策委員会）

① 広告課税問題への対応

全広連をはじめとする広告・報道関係8団体は、広告活動に対する課税の動向をウオッチし続けているが、本年も具体的な動きは出ていないことから、昨年同様に広告課税反対活動は行わなかった。引き続き、状況に変化が生じた際には直ちに連携をとり速やかに対応できるように、8団体それぞれが態勢を整えつつ情勢を静観し続けている。

② 「子どもに配慮した広告の為の手引き」国際規格化の動きに対する対応

経済産業省より、(一社)Consumer Rights Japanによる「子どもに影響を与える広告及びマーケティングのための手引き」の国際規格化を目指す動きに対し広告業界の意見を求める要請があったため、法務政策委員会で対応の協議を行った。結果、規格化の目的が認証による管理ではなく子どもに配慮した広告に対する自主的な取組みの推奨・促進であることから、現在のルールやガイドラインを遵守することで十分であり国際規格化する必要性が見出せない旨、また、一律的な規格化により表現の自由が制限されるおそれがあることを危惧する旨の見解を纏め、9月11日に経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課の担当者に回答した。

(2) 関係団体との協力、連携（四委員会）

広告関係24団体と定期的に会合を開いて情報交換を行ったほか、全広連をはじめとする広告関係29団体が共催し1月8日に開催した「令和2年広告界合同年賀会」に参加し、関係団体並びに関係機関との意思疎通及び交流を図った。

7. 情報発信（定款第4条第7項）

(1) 「東京広告協会報」の発行（広報委員会）

第118号から第121号まで年間4回発行し、会員及び一般に対する協会事業活動の報告及び周知に努めた。巻頭インタビュー「TAAサロン～あの人にきく」には次の4氏をとりあげたほか、新たに法務政策委員会委員執筆による法規コラムを第121号に掲載した。

第118号 仲川薫氏（㈱リクルートコミュニケーションズ執行役員マーケティング局局长）

第119号 犬飼律子氏（東京広告協会理事、㈱ツムラコーポレート・コミュニケーション室長）

第120号 庭崎紀代子氏（セイコーホールディングス㈱常務取締役）

第121号 金山達也氏（東京広告協会理事、広報委員会委員長、㈱朝日新聞社執行役員メ

ディアビジネス担当)

(2) ホームページ及びニュースリリースにより協会活動をPR (広報委員会)

WEBサイトの内容を随時更新し、講演会・セミナー等の開催告知や協会基本データの公開、協会報の掲載など、当協会の最新情報を会員にとどまらず広く一般に向け発信した。また、一般紙及び業界紙(誌)宛にニュースリリースを発信し、協会活動のPRに努めた。

8. その他活動

(1) 勉強会の実施 (総務委員会)

会員同士の情報交換及びネットワークづくりの場を提供することを目的として、会員社限定の勉強会を新たに開催した。

■地域ビジネス活性化を目指す広告主と地域メディア社による勉強会

日 時 令和2年12月10日(木) 午後4時～6時

場 所 AP新橋

参加者 69名(当協会会員社)

プレゼンテーション及び質疑応答

登壇者 大野知法氏(キリンビール(株)マーケティング部宣伝担当マネージャー主幹)

滝沢伸也氏(信濃毎日新聞社東京支社営業部)

モデレーター 北原利行氏(㈱電通メディアイノベーションラボ研究主幹)

(2) 協会活動全般に関するWEBアンケートの実施 (総務委員会)

当協会の事業活動の見直しと改善、また協会の今後の活動方針を検討するにあたり、まずは現状把握の為に定量調査として、会員に対し11月4日～13日にWEBアンケートを実施した。

9. 総会・理事会・監事会・委員会

(1) 総会

令和2年度の総会は、以下のとおり3回(定時総会1回、臨時総会2回)開催し、いずれの議案も委任出席者を含め満場異議なく承認した。

i) 第92回定時総会

日時 令和2年2月20日(木) 午後3時30分～4時5分

場所 帝国ホテル3階 富士の間

正会員総数621名、出席正会員数461名（委任状による者を含む）

監事出席2名、理事出席28名

議題第1号 「総会運営規則」一部改正の内容報告の件

議題第2号 令和元年度事業報告の件

議題第3号 令和元年度決算承認の件（第1号議案）

議題第4号 定款一部変更の件（第2号議案）

議題第5号 理事選任の件（第3号議案）

議題第6号 令和2年度事業計画の件

議題第7号 令和2年度収支予算の件

* 第92回定時総会閉会后、引き続き同場所で下記を実施した。

・ 第39回「東京広告協会 白川 忍賞」贈賞

・ 記念講演 「継続は力なり」

講師 太田雄貴氏（国際フェンシング連盟副会長、(公社)日本フェンシング協会会長）

(※懇親パーティーは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止)

ii) 令和2年度第1回臨時総会

日時 令和2年6月19日(金) 正午～午後0時5分

場所 電通銀座ビル8階会議室

正会員総数620名、出席正会員数455名（議決権行使書面及び委任状による者を含む）

監事出席1名、理事出席3名

第1号議案 理事2名選任の件

第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件

iii) 令和2年度第2回臨時総会

日時 令和2年9月29日(火) 正午～午後0時5分

場所 電通銀座ビル8階会議室

正会員総数614名、出席正会員数440名（議決権行使書面及び委任状による者を含む）

監事出席1名、理事出席3名

第1号議案 理事2名選任の件

第2号議案 監事1名選任の件

(2) 理事会

令和2年度の理事会は、以下のとおり定例理事会を5回開催し、いずれの議案も出席理事全員一致で異議なく承認した。

i) 第41回定例理事会

日時 令和2年1月28日(火) 正午～午後1時15分

場所 電通銀座ビル8階会議室

理事総数29名、理事出席20名、監事出席2名

決議事項

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び附属明細書承認の件
- 第2号議案 令和元年度決算書類承認の件
- 第3号議案 令和2年度補正収支予算承認の件
- 第4号議案 定款一部変更の件
- 第5号議案 理事選任候補者の件
- 第6号議案 「総会運営規則」一部改正の件
- 第7号議案 第92回定時総会の招集及び付議議案の件
- 第8号議案 会員入退会の件
- 第9号議案 委員会委員選任の件
- 第10号議案 「理事会運営規則」一部改正の件
- 第11号議案 「役員報酬等及び費用に関する規程」改正の件
- 第12号議案 全日本広告連盟役員候補者選出の件

報告事項

1. 職務執行状況の報告
2. 今後の総会・理事会・委員会開催日程

ii) 第42回定例理事会（理事全員の同意意思表示による決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年5月12日(火)

理事会の決議があったものとみなされた事項

- 第1号議案 理事選任候補者の件
- 第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
- 第3号議案 令和2年度第1回臨時総会の招集と付議議案、並びに書面による議決権行使実施の件
- 第4号議案 会員入退会の件
- 第5号議案 委員会委員の選任の件
- 第6号議案 第93回定時総会（令和3年）開催日時及び開催場所の件
- 第7号議案 全広連「事務局業務委託契約書」再締結の件

iii) 第43回定例理事会（理事全員の同意意思表示による決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年7月9日（木）

理事会の決議があったものとみなされた事項

- 第1号議案 理事選任候補者の件
- 第2号議案 監事選任候補者の件
- 第3号議案 令和2年度第2回臨時総会の招集と付議議案、並びに書面による議決権行使実施の件
- 第4号議案 会員入退会の件
- 第5号議案 委員会委員の選任の件

iv) 第44回定例理事会（理事全員の同意意思表示による決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年10月23日（金）

理事会の決議があったものとみなされた事項

- 第1号議案 会員入退会の件
- 第2号議案 委員会委員の選任の件
- 第3号議案 本年度事業開催中止の件
- 第4号議案 「法人クレジットカードの利用及び管理に関する規程」制定の件
- 第5号議案 地域ビジネス活性化を目指す広告主と地域メディアによる勉強・交流会の件

v) 第45回定例理事会

日時 令和2年12月10日（木） 午後1時～2時

場所 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル2階 桜

理事総数29名、理事出席16名、監事出席2名

決議事項

- 第1号議案 会員入退会の件
- 第2号議案 任期満了に伴う次期四委員会委員の選任の件
- 第3号議案 令和3年度事業計画書承認の件
- 第4号議案 令和3年度収支予算書等承認の件
- 第5号議案 「テレワーク勤務規程」制定の件
- 第6号議案 「就業規則」一部改正の件
- 第7号議案 「第93回定時総会」関連事業の開催見直しの件

報告事項

1. 職務執行状況の報告
2. 今後の総会・理事会・監事会・委員会開催日程

(3) 監事会

監事会は令和2年1月21日に監事2名の出席により電通銀座ビル会議室で開催し、令和元年度の計算書類、事業報告及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査が行われた。

(4) 委員会

令和2年度委員会は以下のとおり開催した。

なお、法務政策委員会では、委員が様々な領域の知識を深め、共有し、研鑽を積むことを目的とした勉強会を、講師を招き定例の委員会内で1回実施した。

i) 総務委員会

第1回	令和2年1月23日(木)	正午～午後1時40分	(電通銀座ビル8階会議室)
第2回	〃 4月16日(木)	正午～午後0時35分	(WEB会議)
第3回	〃 6月16日(火)	正午～午後1時	(〃)
第4回	〃 9月17日(木)	正午～午後1時15分	(〃)
第5回	〃 12月4日(金)	午後1時～2時30分	(〃)

ii) 業務委員会

第1回	令和2年1月21日(火)	正午～午後1時15分	(電通銀座ビル8階会議室)
第2回	〃 4月8日(水)	正午～午後1時10分	(WEB会議)
第3回	〃 6月8日(月)	正午～午後0時50分	(〃)
第4回	〃 9月8日(火)	正午～午後0時50分	(〃)
第5回	〃 11月18日(水)	午後4時30分～5時30分	(〃)

iii) 広報委員会

第1回	令和2年1月15日(水)	正午～午後0時55分	(電通銀座ビル8階会議室)
第2回	〃 4月9日(木)	正午～午後1時	(WEB会議)
第3回	〃 6月11日(木)	正午～午後1時	(〃)
第4回	〃 9月11日(金)	正午～午後1時	(〃)
第5回	〃 11月30日(月)	午後4時30分～6時15分	(〃)

iv) 法務政策委員会

第1回	令和2年1月17日(金)	正午～午後1時15分	(電通銀座ビル8階会議室)
第2回	〃 4月14日(火)	正午～午後0時45分	(WEB会議)
第3回	〃 6月9日(火)	正午～午後0時45分	(〃)
第4回	〃 9月9日(水)	正午～午後1時10分	(〃)
第5回	〃 11月20日(金)	午後4時～5時30分	(〃)

(勉強会)「AIに関する法的な課題」

講師 殿村桂司氏 (長島・大野・常松法律事務所弁護士)

v) 第40回「東京広告協会 白川 忍賞」選考委員会

令和2年12月10日(木) 正午～午後0時40分

(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル2階 桜)

II. 会員・組織状況

令和2年度会員状況

正会員（通常会員及び特別会員） … 609 名
賛助会員 …………… 35 口

会員(社)数	令和2年度入会		令和2年度退会		前年度末比
	新入会	会員増員	退会	会員減員	
通常会員 595 名	1名(2社)	1名	10名(9社)	5名	-13名(-7社)
特別会員 14名	0名(0社)	0名	1名(1社)	0名	-1名(-1社)
正会員 609名(326社)	2名(2社)		16名(10社)		-14名(-8社)
・賛助会員以外の会員社 1口(1社)	0口(0社)		0口(0社)		±0口(±0社)
・正会員会員社を兼ねる賛助会員 34口(13社)	0口(0社)		0口(0社)		

■ 賛助会員 (14社、順不同)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 株式会社 電通 | 株式会社 読売新聞東京本社 |
| 株式会社 博報堂 | 株式会社 日本経済新聞社東京本社 |
| 株式会社 朝日新聞社(東京本社) | 株式会社 産業経済新聞東京本社 |
| 株式会社 朝日広告社 | 株式会社 ADKホールディングス |
| 株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ | 株式会社 大広 |
| 株式会社 東急エージェンシー | 凸版印刷株式会社 |
| 株式会社 毎日新聞社(東京本社) | 株式会社 アマナ |

令和2年度 役員一覧（敬称略・順不同）

※令和2年12月31日現在

理事長	大平 明	大正製薬ホールディングス(株)取締役相談役
副理事長	石井 直	(株)電通グループ相談役
専務理事	長崎 之保	(公社)東京広告協会
常務理事 事務局長	中井 良博	(公社)東京広告協会
理事	片上 崇	味の素(株)理事広告部長兼オリンピック・パラリンピック推進室長
	大野 知法	キリンビール(株)マーケティング部宣伝担当マネージャー主幹
	水谷 徹	サントリーコミュニケーションズ(株)代表取締役社長
	小出 誠	資生堂ジャパン(株)メディア戦略部エグゼクティブマネージャー
	岩井 信幸	第一三共ヘルスケア(株)執行役員マーケティング部長
	梅岡 久	大正製薬(株)理事マーケティング本部長
	犬飼 律子	(株)ツムラコーポレート・コミュニケーション室長
	室田 泰志	トヨタ自動車(株)ブランド・コミュニケーション部プロモーションPTプロジェクトリーダー
	丸山 哲朗	パナソニック(株)ブランドコミュニケーション本部宣伝部部长
	関 邦彦	三菱電機(株)執行役員宣伝部長
	金山 達也	(株)朝日新聞社執行役員メディアビジネス担当
	廣田 勝巳	(株)毎日新聞社取締役営業総本部長
	安部 順一	(株)読売新聞東京本社常務取締役広告局長
	平田 喜裕	(株)日本経済新聞社専務取締役メディアビジネス統括
	鈴木 裕一	(株)産業経済新聞社上席執行役員
	須江 剛行	(株)中日新聞社東京本社広告局長
	藤田 基予	(株)小学館取締役
	浜島 聡	(株)テレビ朝日取締役・セールスプロモーション局長
	小池 清	(株)ニッポン放送執行役員コンテンツビジネス局長
	五十嵐 博	(株)電通代表取締役社長執行役員
	今泉 智幸	(株)博報堂DYホールディングス取締役専務執行役員
	上田 周	(株)朝日広告社代表取締役社長執行役員
	中井 規之	(株)ADKホールディングス執行役員社長補佐グループCSO
	久保田和昌	CCCライフスタイル(株)上席執行役員CMO
	新井 誠	凸版印刷(株)取締役専務執行役員
監事	高梨 史憲	(株)TBSテレビ営業局長
	小池 実	(株)弘亜社取締役執行役員メディア本部長

令和2年度 委員会委員一覧（敬称略・順不同）

※令和2年12月31日現在

総務委員会

委員長	片上 崇	味の素(株)
副委員長	奥田陽太郎	(株)電通
委員	大野 知法	キリンビール(株)
	田中 巖夫	第一三共ヘルスケア(株)
	小野 剛	(株)毎日新聞社東京本社
	有田 淳	(株)読売新聞東京本社
	清澤 優	(株)産業経済新聞東京本社
	松下 寿樹	(株)中国新聞社東京支社
	佐野 貴英	(株)テレビ朝日
	角田 洋子	日本テレビ放送網(株)
	小池 清	(株)ニッポン放送
	大矢 憲昭	(株)博報堂

広報委員会

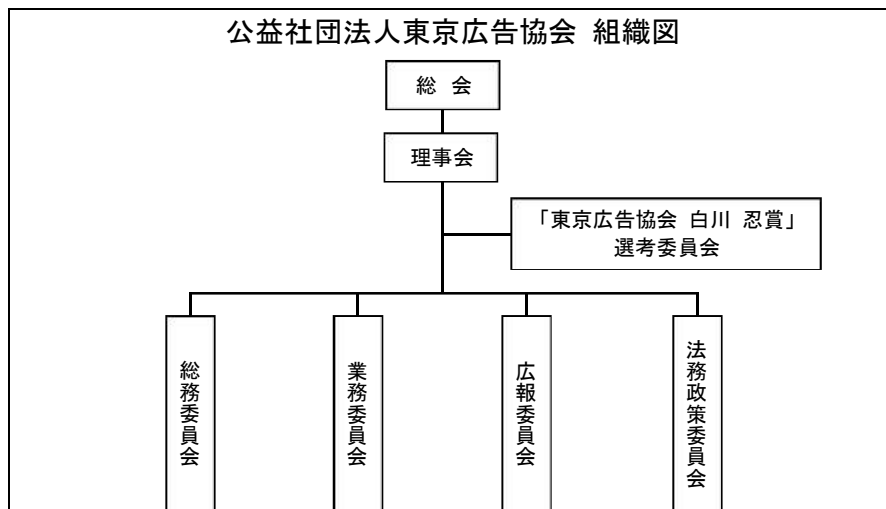
委員長	金山 達也	(株)朝日新聞社
副委員長	小出 誠	資生堂ジャパン(株)
委員	勅使河原史彦	(株)毎日新聞社東京本社
	大野 翼	(株)神戸新聞社東京支社
	高倉 浩之	(株)西日本新聞社東京支社
	菊地 学	(株)河北新報社東京支社
	光山 洋三	(株)スポーツニッポン新聞社東京本社
	石井 明夫	(株)TBSテレビ
	平松 和剛	(株)電通
	高田 豊造	(株)博報堂
	斉藤 雅史	(株)ADKホールディングス
	谷本 卓哉	(株)大広
	高木 典和	(株)読売エージェンシー
	高橋 庸江	(株)東急エージェンシー

業務委員会

委員長	伊谷以知郎	(株)電通
副委員長	小出 輝	(株)中日新聞社東京本社
委員	牧野 清克	サントリーコミュニケーションズ(株)
	瀬戸 純	(株)ソムラ
	大木 政秀	トヨタ自動車(株)
	山本 一雄	(株)朝日新聞東京本社
	中村 弘美	(株)日本経済新聞社東京本社
	太田 智子	(株)北海道新聞社東京支社
	長田 隆	(株)テレビ東京
	小坂 展子	読売テレビ放送(株)東京支社
	黒木省一郎	(株)フジテレビジョン
	井桁 真一	(株)ニッポン放送
	藤井 慶太	(株)博報堂
	前田 一郎	(株)朝日広告社
	榎田 克典	(株)日本広告社

法務政策委員会

委員長	桑畑 一浩	三菱電機(株)
副委員長	増田 浩	(株)博報堂DYホールディングス
委員	平池 綾子	資生堂ジャパン(株)
	二上 裕之	(株)朝日新聞社
	富田 嘉一	(株)読売新聞東京本社
	太田 寿彦	(株)日本経済新聞社東京本社
	佐々木 泰	(株)講談社
	川村 博二	(株)テレビ朝日
	乗本 乃輔	(株)ADKホールディングス
	古河崎敏夫	(株)大広
	永江 禎	(株)電通グループ
	中島 正人	(株)東急エージェンシー
	加藤 芳浩	(公財)広告審査協会
	遠山 昭弘	(一社)日本民間放送連盟
	橋 一	(公社)日本広告審査機構
	中村 茜	ヤフー(株)



Ⅲ. 活動記録 (会場無記載は電通銀座ビル)

令和2年

1月

- 8日 令和2年広告界合同年賀会参加 (帝国ホテル)
- 15日 広報委員会
- 17日 法務政策委員会
- 21日 業務委員会
- 21日 監事会
- 23日 総務委員会
- 28日 第41回定例理事会

2月

- 3日 Young Lotus Workshop2020国内第1次選考協力
 - 5日 PreADFEST2020協力 (銀座フェニックスホール)
 - 12日 Young Lotus Workshop2020国内最終選考協力
 - 20日 第92回定時総会 (帝国ホテル)
 - 〈議題〉第1号 「総会運営規則」一部改正の内容報告の件
 - 第2号 令和元年度事業報告の件
 - 第3号 令和元年度決算承認の件 (第1号議案)
 - 第4号 定款一部変更の件 (第2号議案)
 - 第5号 理事選任の件 (第3号議案)
 - 第6号 令和2年度事業計画の件
 - 第7号 令和2年度収支予算の件
 - ・贈賞式
 - 第39回「東京広告協会 白川 忍賞」
 - 受賞者 後藤卓也氏 (元花王㈱取締役会会長、前(公社)日本マーケティング協会会長)
 - ・記念講演
 - 演題 「継続は力なり」
 - 講師 太田雄貴氏 (国際フェンシング連盟副会長、(公社)日本フェンシング協会会長)
- (※懇親パーティーは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止)
- 25日 「広告等法規・行政情報」第297号発行
 - 27日 令和元年度第4回全広連8ブロック会議出席

3月

- 18日 令和元年度第4回(公社)全日本広告連盟理事会 (決議の省略)
- 23日 東京広告協会報第118号発行
- 27日 第14回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会出席

4月

- 8日 業務委員会 (WEB会議)
- 9日 広報委員会 (WEB会議)
- 13日 第14回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞選考委員会出席
- 14日 法務政策委員会 (WEB会議)

- 16日 総務委員会 (WEB会議)
- 17日 令和2年度第1回全広連8ブロック会議出席 (WEB会議)

5月

- 12日 第42回定例理事会 (決議の省略)
- 14日 「広告等法規・行政情報」第298号発行
- 18日 令和2年度第1回(公社)全日本広告連盟理事会 (決議の省略)
- 21日 第68回全日本広告連盟ふくしま大会参加 (オンライン配信)

6月

- 8日 業務委員会 (WEB会議)
- 8日 (公社)全日本広告連盟第68回通常総会 (決議の省略)
- 8日 令和2年度第2回(公社)全日本広告連盟理事会 (決議の省略)
- 9日 法務政策委員会 (WEB会議)
- 11日 広報委員会 (WEB会議)
- 16日 総務委員会 (WEB会議)
- 19日 令和2年度第1回臨時総会
〈議題〉第1号議案 理事2名選任の件
第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
- 29日 第26回(令和2年度)大学生意識調査(FUTURE2020)キックオフミーティング (WEB会議)

7月

- 9日 第43回定例理事会 (決議の省略)
- 16日 「広告等法規・行政情報」第299号発行

8月

- 3日 東京広告協会報第119号発行
- 4日 第31回(令和2年度)全広連夏期広告大学参加(富山市・富山国際会議場)
- 28日 } 令和2年度第1回特別講演会(録画配信) 視聴者250名
- 31日 } 演題 「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」～実現に向けたまちづくり～
講師 長谷部健氏(渋谷区長)

9月

- 8日 業務委員会 (WEB会議)
- 9日 法務政策委員会 (WEB会議)
- 11日 広報委員会 (WEB会議)
- 11日 経済産業省へ『『子供に影響を与える広告及びマーケティングのための手引き』国際規格化提案』に関する見解を回答
- 17日 総務委員会 (WEB会議)
- 29日 令和2年度第2回臨時総会
〈議題〉第1号議案 理事2名選任の件
第2号議案 監事1名選任の件

10月

- 1日 令和2年度第2回全広連8ブロック会議出席 (WEB会議)
- 23日 第44回定例理事会 (決議の省略)
- 23日 令和2年度第3回(公社)全日本広告連盟理事会 (決議の省略)

- 28日 令和2年度実践広告スキルアップセミナー（ライブ配信） 視聴者147名
 全体テーマ「アフターコロナの広告コミュニケーションを考える」
 1日目「ブランドをめぐる変化」
- ・「社会変化と『ブランディング』再定義：新時代の価値創造を実現するために」
 講師 小西圭介氏（㈱電通ソリューション開発センターシニア・ディレクター）
 - ・「プラットフォーム時代のD2Cビジネスとブランディング」
 講師 鈴木健氏（㈱ニューバランスジャパンマーケティング部ディレクター）
 - ・「『好き』をつくるーブランディングと広告」
 講師 原野守弘氏（㈱もり代表／クリエイティブディレクター）
 - ・トークセッション

28日 東京広告協会報第120号発行

11月

- 4日 }
 13日 } 協会活動全般に関するWEBアンケート実施
- 4日 第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学参加（松山市・ANAクラウンプラザホテル松山）
- 5日 令和2年度実践広告スキルアップセミナー（ライブ配信） 視聴者165名
 2日目「デジタル／ECによって変化する広告マーケティング」
- ・「ECプラットフォームを活用した楽天のマーケティングソリューション」
 講師 紺野俊介氏（楽天㈱執行役員）
 - ・「Mission Driven Company Facebookから見る現状の課題と機会について」
 講師 中村淳一氏（Facebook Japan㈱執行役員）
 - ・「ニューノーマルにおけるマーケティングセオリー」
 講師 鈴木暎氏（TikTok For Business Japan Head of Global Business Marketing）
 - ・「広告主のデジタルの活用と乗り越えるべき問題を聞く」
 講師 中條裕紀氏（資生堂ジャパン㈱メディア戦略部IMCグループマネージャー）
- 10日 令和2年度実践広告スキルアップセミナー（ライブ配信） 視聴者89名
 3日目「デジタルシフト人材育成を考える」
- 講師 戸川尚樹氏（日経BP総合研究所イノベーションICTラボ所長）
 - 鉢嶺登氏（㈱デジタルホールディングス代表取締役会長）
 - 田代誠氏（CCC MARKETING HOLDINGS㈱取締役）
 - ・トークセッション
- 11日 第30回（令和2年度）大学生広告制作講座オリエンテーション（オンライン）
- ①「京都に住んでいる人に、もう一度観光名所に行ってもらうためのコピー」
 - ②「もっと映画館に行って映画を観たくなる広告」
 - ③「英語を喋りたくなるアイデア」
 - ④「恋愛離れた若者たちが、恋愛をしたくなる広告」
- 16日 第31回（令和2年度）全広連夏期広告大学参加（大阪市・グランフロント大阪）
- 17日 広告未来塾第4期「Creativityの力でできないことなんかひとつもない」（AP新橋／ライブ配信）
 第1回講義「クリエイティブ・ディレクションの技術」
- 講師 古川裕也氏（塾長、㈱電通CDCシニア・プライム・エグゼクティブ・プロフェッショナル／エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）

- 18日 業務委員会 (WEB会議)
- 18日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座中間指導① (オンライン)
- 19日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座中間指導② (オンライン)
- 20日 法務政策委員会 (WEB会議)
- 20日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座中間指導③ (オンライン)
- 24日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座中間指導④ (オンライン)
- 24日 第114回全広連全国事務局長会議出席 (WEB会議)
- 30日 広報委員会 (WEB会議)
- 30日 第26回 (令和2年度) 大学生意識調査 (FUTURE2020) 考察結果報告 (オンライン)
テーマ 「大学生のコロナ禍のニューノーマル」

12月

- 1日 広告未来塾第4期「Creativityの力でできないことなんかひとつもない」(AP新橋/ライブ配信)
第2回講義
講師 高崎卓馬氏 (㈱電通エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター/CMプランナー)
- 2日 令和2年度第1回(公社)全日本広告連盟臨時総会 (決議の省略)
- 3日 令和2年度高等学校教諭に対する広告研修会 (印刷博物館) 参加教諭18名
第35回東京都商業教育研究会 (都商研) 広告研修会
- 3日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座最終講座② (オンライン)
- 3日 第13回 (令和2年度) 全広連秋のシンポジウム参加 (新潟市・新潟日報メディアシップ)
- 4日 総務委員会 (WEB会議)
- 4日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座最終講座①、③ (オンライン)
- 7日 第30回 (令和2年度) 大学生広告制作講座最終講座④ (オンライン)
- 9日 第13回 (令和2年度) 全広連秋のシンポジウム参加 (秋田市・イヤタカ)
- 10日 第40回 (令和3年)「東京広告協会 白川 忍賞」選考委員会
(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
- 10日 第45回定例理事会 (コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
- 10日 地域ビジネス活性化を目指す広告主と地域メディア社による勉強会 (AP新橋) 参加者69名
・プレゼンテーション及び質疑応答
大野知法氏 (キリンビール㈱マーケティング部宣伝担当マネージャー主幹)
滝沢伸也氏 (信濃毎日新聞社東京支社営業部)
・モデレーター
北原利行氏 (㈱電通メディアイノベーションラボ研究主幹)
- 15日 広告未来塾第4期「Creativityの力でできないことなんかひとつもない」(AP新橋/ライブ配信)
第3回講義
講師 嶋浩一郎氏 (㈱博報堂ケトル取締役クリエイティブディレクター/編集者)
- 22日 第9回全広連日本宣伝賞選考委員会出席
- 25日 東京広告協会報第121号発行

IV. 業務執行体制等

令和2年度は、「内部統制システム整備に関する基本方針」に基づき、法人業務の適正を確保するため「リスク管理規程」の運用状況について確認を行った。

内部統制システム整備に関する基本方針

1 理事・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制(一般法人法90条4項5号、同法施行規則14条4号)

- (1) コンプライアンス体制の基礎として、倫理規程、公益通報者保護規程等の規程を定め、職員相互間の適切な監督体制を創設する。
- (2) 理事が他の理事の法令・定款違反行為を発見した場合は、直ちに監事に報告するなどガバナンス体制を強化する。
- (3) 職員の法令・定款違反行為については、就業規則に従い処分を決定する。
- (4) 監事は、監事監査規程に基づき、理事会への出席、業務執行状況の調査などを通じ、理事の職務執行の監査を行う。

2 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制(一般法人法施行規則14条1号)

- (1) 理事は、社員総会、理事会その他重要な会議の議事録を、法令及び関係規程に従い作成し、適切に保存・管理する。
- (2) 理事長及び業務執行理事は、法令に従い自己の職務の執行状況を理事会に報告する。
- (3) 理事は、文書管理規程に従い、法人の事業運営及び業務執行に関わる重要な情報、決定事項、内部規程・規則等は適切に保存し、管理する。
- (4) 理事及び監事は、いつでもこれらの情報を閲覧又は謄写することができる。

3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制(一般法人法施行規則14条2号)

- (1) リスク管理体制の基礎として、リスク管理規程を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築する。
- (2) 不測の事態が発生した場合には、危機管理を所掌する組織として、理事長を本部長とする対策室を設置し、損害の拡大を防止しこれを最小限に止める体制を整える。

4 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制(一般法人法施行規則14条3号)

- (1) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、定例理事会を原則年5回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催する。
- (2) 理事会の決定に基づく業務執行については、諸規程において、それぞれの責任者及びその権限、執行手続について定める。
- (3) 理事は、必要な資源の配分の決定又は見直しを行い、効率的な運営を確保する。

5 監事の職務を補助すべき使用人に関する体制、当該使用人の理事からの独立性に関する事項及び監事の当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項(一般法人法施行規則14条5号、6号、7号)

- (1) 監事はその職務を補助すべき使用人を置くことを求めたときは、当法人は職員から、監事補助者を任命するものとする。
- (2) 当該職員は、職務執行に当たっては監事の指揮命令を受け、理事の指揮命令を受けない。
- (3) 当該職員の人事評価(昇格降格・昇給の有無及び程度を含む。)・異動・処分(以下「処分等」という。)については当法人の監事の事前同意を得た上で、機関決定し、理事からの独立性を確保する。
- (4) 監事補助者は、業務の執行にかかる役職を兼務しないこととする。

6 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項(一般法人法施行規則14条10号)

- (1) 監事の職務の執行について生ずる費用について、前払又は償還を求められた際には、必要な見積書又は証憑の提示を求め、会計処理規程に別に定める手続にしたがって処理することとする。その他の監事の職務の執行について生ずる費用又は債務の処理についても、これに準じることとする。

7 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制、当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制及び監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制(一般法人法施行規則14条8号、9号、11号)

- (1) 理事及び使用人は当法人の業務又は業績に影響を与える重要な事項について監事にその都度報告する。前記にかかわらず、監事は、いつでも必要に応じて、理事及び使用人に対して報告を求めることができる。
- (2) 理事は、公益通報者保護規程を定め、その適切な運用を維持することにより、法令違反その他コンプライアンス上の問題について、監事への適切な報告体制を確保する。
- (3) 監事に報告した者の処分等については監事の事前同意を得た上で、機関決定することとし、また、監事から、当該報告者の処分等についてその事後に異議が申し述べられたときは、処分等を撤回又は訂正することとして、当該報告者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保する。
- (4) 監事は、必要に応じて、理事会その他の重要な会議に出席し、当法人の業務執行に関する報告を受けることができる。
- (5) 監査を実効的に行うために、理事長との間で適宜に意見交換を行う。

平成26年12月9日制定 第15回定例理事会決議
平成27年12月9日一部改正 第20回定例理事会決議

附属明細書

重要な事項はすべて事業報告に記載した。